

南タイ周遊 撮影ワークショップ

Workshop in South Thailand

2023年12月20日開催

現地集合 & 解散型

アンダマン海に生きる海洋民族モーケン族の銜漁の撮影
世界最古の生態系を誇るカオソック湖の絶景
パンガー湾に浮かぶムスリムの村を訪問
マングローブとアンダマン海を望む絶景撮影
奇跡の絶景クーハーカルハット宮殿
ビーチの真上を飛ぶ飛行機撮影

最少催行人数3名

最大催行人数8名

バンコクIN

プーケットOUT

バンコク、プーケット、チェンマイとメジャーな観光地で知られるタイですが、実はまだまだ一般には知られていない隠れたスポットが点在しています。

今回のワークショップでは、専用車でこれらの希少なポイントを効率的に周り、この時期でしか見れない素晴らしい景色をカメラに納める事ができます。

12月20日(DAY1) 夕刻までにバンコク市内の指定ホテルにお越し下さい (バンコク泊)

夕刻、暁の寺(ワットアルン)で撮影、その後ライトアップされた王宮周辺を周り、中華街でディナー



左/ライトアップされた王宮
上/バンコクの中華街

12月21日(DAY2) 中央駅からタイ国鉄でホアヒンへ (ホアヒン泊)

午前9時20分発の列車に乗りホアヒンまで列車の旅をお楽しみ下さい。ホアヒンは王室の保養地として栄えたコンパクトなリゾート地として欧米人旅行者に人気です。

皆さんのスーツケースは専用車でホアヒンのホテルまで運びますので、カメラと貴重品のみご持参で列車にご乗車下さい。列車は14時過ぎにホアヒンに到着します。ホアヒン駅はタイで最も美しい駅として知られています。

ホアヒン駅からは専用車でホテルに移動。チェックイン後センタラホテルを散策
創業100年のコロニアル風建築のホテルの西洋風ガーデンを散策後ナイトマーケットでディナー



左/旧Railways Hotel 明治時代に建造された洋式建造物 映画キリングフィールドのロケ地としても有名
右/国鉄ホアヒン駅 インスタ映えポイントとして人気の駅

12月22日(DAY3) 奇跡の絶景プラヤナコン洞窟を經由してチュンポンへ (チュンポン郊外泊)

早朝6時半にチェックアウト。専用車でカオソムロイヨット国立公園のビーチへ移動(50km 約1時間)

ビーチで朝食後、ロングテウボートで岬を回りレムサラビーチへ移動。

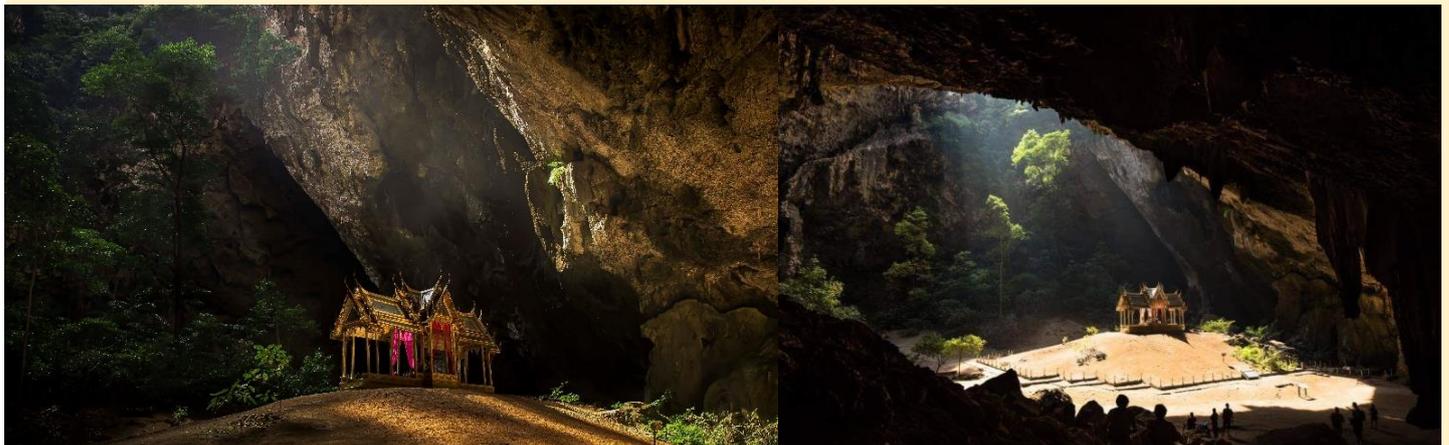
その後登山道を約30-40分歩きプラヤナコン洞窟へ。洞窟にはラマ5世が建てた黄金の社クーハーカルハット宮殿が鎮座しています。

少し急な坂道を歩きますが、ゆっくり時間をかけて登っていきます。

洞窟の上部は陥落し、大きな穴から太陽が射していますが、概ね1月1日前後2週間に限り太陽が宮殿を照らす絶景を見る事ができます。

太陽が照らす時間は概ね11時頃。撮影後下山し昼食後専用車でチュンポンに移動します。

美しいビーチが点在するチュンポン郊外のホテルに夕刻頃到着。(250km 約3時間半)



洞窟の天井に空いた穴から、陽光が少しずつ宮殿に近づく情景は「奇跡の絶景」と称されています。
この時期は乾季のため雨が降る事は殆どなく、高い確率で光のショーをご覧頂けます。

12月23日(DAY4) 世界最古の生態系カオソック ラチャブラパダム (クラブリ泊)

朝7時にチェックアウト。マレー半島最深部に位置するカオソック国立公園内のラチャブラパダムへ移動します。(230km 約3時間半) 昼食後、ボートでダムを散策。湖面から乱立する石灰岩の奇形と世界最古の生態系を誇る絶景をボートから撮影。約3時間の周遊。

その後専用車でアンダマン海に面したクラブリに移動。(150km 約2時間半) 午後6-7時に到着。



タイの桂林と称されるラチャブラパダムの絶景 前人未到の熱帯ジャングルには、野生の象をはじめ世界一大きな花「ラフレシア」等

12月24日(DAY5) 秘境スリン島へ (スリン島泊)

朝7時にチェックアウト アンダマンディスカバリー社のガイドと合流し朝食後8時半のスピードボートでスリン島へ向かいます。(移動時間 約1時間半) スリン島はミャンマー国境海域に位置し、アンダマン海で最も美しい島として知られています。

周辺は国立公園に指定されており、宿泊施設は政府が運営するテント泊となります。

宿泊施設は質素ですが、トイレやシャワーは清潔で完備されており、食堂もあります。

この日は指定された宿泊場所にチェックイン後、ボートで海洋民族モーケン族の住む村へ訪れます。

簡素な家々が建つモーケン族の村で、ポートレート撮影をお楽しみ下さい。

食事は公営の食堂のみ



スリン島のモーケン族の村

村には小さな小学校やガバンと呼ばれる伝統的な船を造る工房があります。

12月25日(DAY6) モーケン族の銛漁 (カオラック泊)

朝食後ロングテウボートでモーケン族の銛漁に同行します。(タイ国の法律により、銛漁への同行は禁止されています。その為魚を突く事はありませんが実際の銛漁をそのまま実演して貰います)

銛漁を実演する漁師達は、ガバンという伝統的な漁船を用いており撮影用にチャーターするので、何度でも撮影をアレンジ致します。

撮影後、スピードボートでクラブリへ戻り、専用車でカオラックに移動。(95km 約1時間半)

欧米人旅行者に人気のビーチで宿泊。賑やかなビーチリゾートの雰囲気をお楽しみ下さい。



12月26日(DAY7) パンガー湾に浮かぶ漁村と絶景 (パンガー泊)

朝食後専用車でパンガー県クラソムの港へ移動します。(55km 約1時間)

港からボートをチャーターし、マングローブの中を進みパンガー湾に浮かぶパンイー集落を訪れます。

パンイーは漁業を生業に暮らすイスラム教徒の集落で、学校や家々が海上に浮かぶ珍しい村として有名です。

海上の学校や漁民の人達のポートレート撮影、モスクや乱立する奇岩の風景撮影をお楽しみ下さい。

その後パンガー市内のホテルに一旦チェックインし、パンガー湾を望む絶景ポイントに移動します。

4WDに乗り換え、急な坂道の先にあるビューポイントからはパンガー湾に沈む夕日を撮影します。ビューポイントまでは片道50km 約50分



上/パンガー湾に浮かぶ水上村 パンイー集落 村全体が海上に浮かぶ珍しい場所

左下/パンガー湾を望む絶景

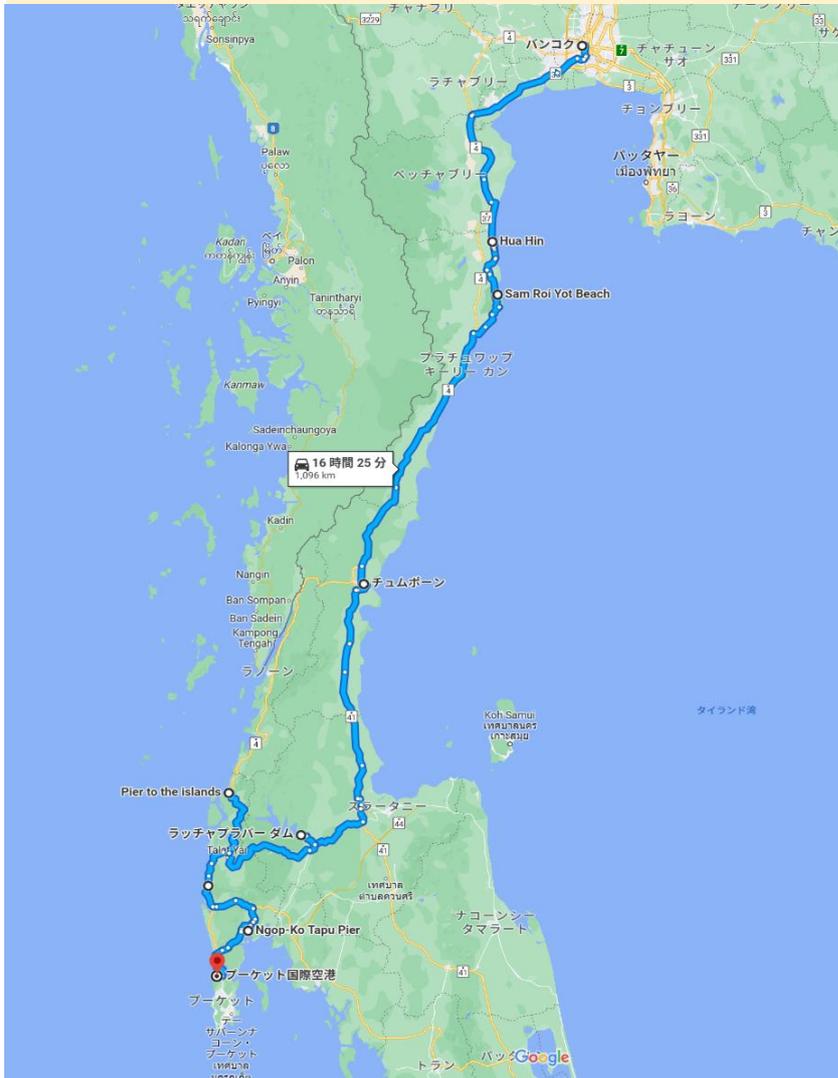
右下/空港滑走路横のビーチ 迫力の飛行機撮影ポイント

12月27日(DAY8) プーケット空港 飛行機撮影 午後解散

朝食後専用車でプーケット空港滑走路脇のビーチへ移動します。(55km 約1時間)

頭上すれすれの低空から着陸する航空機を撮影後、プーケット空港又は島内のホテルまで送迎し解散となります。(昼頃を目安とします)

移動の概要



※左のmapは移動の概要を表記していますが、バンコク - ホアヒン間は列車による移動となります。

ホテルについて

ツアーでは★★もしくは★★★レベルのバジェットホテルとなります。

エアコン、ホットシャワー、wifi、トイレ付のお部屋をご用意させていただきますがwifiに関しては一部不安定な場合もあるので、4Gもしくはレンタルwifiルーター等各自のご対応をお勧め致します。

スリン島での宿泊

スリン島での宿泊は国立公園内のキャンプ場となります。(ひとり1幕)

一部エアコン付きのコテージテント、もしくはバンガローもありますが、数が希少であり、確保は難しいです。

エアコン付きテント又はバンガローご希望の場合は、追加料金(2500THB/泊部屋)がかかります。



画像は前回のワークショップで利用したバンコク中華街のホテルW22hotel by Burasari
他でも同程度のホテルをご用意致します。

ワークショップ代金 ひとり38,000THB

★シングルユースご希望の場合は、上金額に+4,000THBの追加料金となります。
おひとりでご参加の場合も同じく+4,000THBの追加となります。
スリン島でのご宿泊はテント泊（シングル）となります。

代金に含まれるもの

①ホテル7泊+朝食付き+昼食6回付（スリン島ではテント泊となります）

朝食&昼食は現地のローカル食堂又はドライブイン等でご用意致します。

②旅写真家持田あきらによる撮影指導

現地での撮影のサポート、及びご希望によりご指導させていただきます。

③現地英語ガイドによるアレンジ（スリン島）と専用車による移動

バンコク中央駅からホアヒンまでの列車移動（普通車）

専用車による移動（トヨタハイエース又は同等クラス）

ラチャブラパダム周遊 ボート代

スリン島往復のスピードボート（混載）及びスリン島でのボート移動等

パンガー湾の水上村までのボート往復等

モーケン族撮影のアレンジ 海上での鮎漁撮影のコーディネート

代金に含まれないもの

空港からバンコク市内までの送迎代&夕食代&国立公園入場料、その他ホテル内での有料サービス等

※3名様以上のグループの場合は空港送迎片道無料

タイ国内線（プーケット バンコク間）

ワークショップのお申し込み及び不明点等あればメールでお問い合わせください。

mochidakurohei@gmail.com

スリン島の宿泊は例年混雑しており予約が難しい状況が予想されます。

できるだけ、お早めにお申し込み頂く事をお勧め致します。

※25日のカオラックは予約状況によってはパンガー泊となる可能性があります。

旅行保険のご加入のお願い

旅先での事故や病気に備え、必ず各自旅行保険に加入してからご参加頂きますようお願い致します。

滞在中は、できる限り安全を心がけますが、急な環境の変化により体調を崩す方もいらっしゃいます。

現地での病院の手配や、帰国便の変更等、できる限りお手伝いは致しますが、治療費等の負担はできかねますので、予め保険に加入して頂く事で事故や病気に備えて頂きますようお願い致します。